



【Well-beingひろば】ってご存じですか？【Well-beingひろば】は動物福祉に関する情報発信や情報共有のために実験動物福祉部会が全国大会で毎年行っている企画です。また、動物実験についてのお悩みを受け付けている相談窓口でもあります。「動物福祉通信」はひろばに寄せられたご相談や企画で得られた情報について、会員や会員以外の動物実験に従事される方に共有するために作成しています。

QUESTION

ANSWER

Q

手技習得を目的とした新人・学生実習の動物実験計画書では、動物への苦痛軽減と処置内容の詳細をどこまで記載すべきですか？

A

計画書には一般的な苦痛軽減方法に加え、動物福祉に精通した熟練者が適切な指導を行う旨を記載してはどうでしょうか？
また、動物を扱う前に、シミュレーターで十分に練習する旨を記載することも有効と思われます。



イグルー+巣材
きれいな巣をつくるようになりました



木製のマウスキューブ
齧る、登る行動が増加しました



玩具と空間エンリッチメント
体重増加
異常行動予防
きれいな歯の維持につながりました

エンリッチメント効果の例



麻製のマット
胼胝の発生を抑制できました



ステンレス製の隠れ家
長時間群れて滞在している様子が確認できました



トンネル
保定器への抵抗が軽減されました

実験動物福祉部会では、全国大会でのイベント【Well-beingひろば】だけでなく

【オンラインWell-beingひろば】や【動物福祉通信】などで情報収集・発信を行っています

会員のみなさまの生の声を大募集しておりますので、ぜひご参加ください！！

